

# ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより

「つつじに思いを込めて」

季節は秋へ移り行く中、春の花「つつじ」の話題で恐縮です。

今年も春に信濃境駅と富士見駅の「つつじ」が、まばゆいばかりの赤い花と純白の花をいっせいに咲かせ、旅ゆく人たちを車窓から楽しませてくれました。

この「つつじ」は、今から50年前の明治百年を記念した式典で、東都高原富士見会から苗を寄贈させていただいたものです。以来、富士見町からは「つつじ祭り」にお招きいただき、郷里を訪問し交流を深めています。

当時、就職のために上京することは、帰らない覚悟を決め、里帰りの際はお金を貯めてやっと夜行列車を使って帰ってきたそうです。今では、東京は日帰りが可能となり気軽に出かけられるようになりました。

時代の変化は大きいですね。

つつじの種は山奥の岩肌などの厳しい環境を好むことから由来して、花言葉には、「節制」「慎み」などがあるようで、当時の様子とこの花言葉が重なります。

今年6月に行



▶ゆめひろば富士見にもつつじを寄贈しました

われた「つつじ祭り」では、会長から「ご近所の方からふるさと富士見町の景観の美しさを褒めてもらい嬉しかった。ふるさとを誇りに思います。この美しさは、ふるさとの皆さんが大切に守ってくださいているからです」と感謝の挨拶がありました。

「つつじ祭り」のしめは定番である「信濃の国」を大合唱し、離れていても心はふるさとに繋がっていることを実感しました。

(文責…池田みかほ)

▼みんなで信濃の国を大合唱



◀女性陣も多く参加し華やかなお祭りになりました



広 告

広 告